

東京国立 博物館 ニュース



3ページに
掲載してるほ!



今号の名品

「振袖 白綸子地
雲御簾橘模様」



特別展 Information

「仁和寺と御室派のみほとけ」／「アラビアの道」／

「名作誕生」／「日本美術のあゆみ展」／

「東アジアの虎美術」……2

「博物館に初もうで」……4～5

年の初めにこの作品……6

総合文化展 Pick up! (本館／東洋館／平成館／黒田記念館)……7～11

保存と修理情報 ④……9／みどりのライオン(教育普及事業)……12～13／トーハクくんのなるほトーハク……13

イベント&インフォメーション……14～15／2017年12月・2018年1月の展示・催し物……16

特別展

「仁和寺と
御室派のみほとけ
—天平と真言密教の名宝—」

御室派寺院の秘仏・本尊が一堂に

仁和寺を総本山とし、全国に約790箇所ある御室派寺院には、優れた仏像が伝わり、秘仏も少なくありません。徳島県の雲辺寺は四国遍路中の最高峰で、千手観音菩薩坐像は眼病治療を祈って造られました。六甲山系の甲山にあって、大阪や神戸を一望できる兵庫県の神呪寺の如意輪観音菩薩坐像は、6本の腕を持つ妖艶な姿です。福井県の中山寺は、若狭湾に面する山中にあり、3つの顔と8本の腕をもつ馬頭観音菩薩坐像がまつられます。展覧会ではこの3体の他、全国の御室派寺院から普段は公開されていない秘仏や本尊を含む数多くの仏像を一堂に公開します。

(丸山士郎)



◎如意輪観音菩薩坐像

平安時代・10世紀 兵庫・神呪寺蔵

毎年5月18日にのみ開扉される妖艶な密教尊像



◎千手観音菩薩坐像

経尊作 平安時代・12世紀 徳島・雲辺寺蔵

像内には「目アヘ(キ)ラカニシタマヘ」と書かれています



(像内の墨書銘)

2018年
1月16日(火)

3月11日(日)

平成館
特別展示室

関連イベント

事前申込制

【フォーラム】

①「観音堂解体修理の最新報告」

日時:2018年1月19日(金) 13:30~15:30(13:00開場予定)
講師:瀬川大秀(総本山仁和寺宗務総長)、井手亜里(京都大学教授)、奥村幸司(サピア代表)、吉田理(京都府教育庁指導部文化財保護課主査)、三田寛之(当館研究員)

【記念講演会】

②「仁和寺と御室派」

日時:2018年2月10日(土) 13:30~15:00(13:00開場予定)
講師:立部祐道(総本山仁和寺門跡・御室派管長)、朝川美幸(総本山仁和寺学芸員)

③「仁和寺と御室派のみほとけ」

日時:2018年2月17日(土) 13:30~15:00(13:00開場予定)
講師:丸山士郎(当館特別展示室)

会場:平成館大講堂・定員:380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

聴講無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可)

申込方法:往復はがきでお申し込みください。『往信用裏面』に、(1)希望するイベントの番号(①②③いずれか)、(2)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、(3)代表者の郵便番号・住所、(4)代表者の電話番号を、『返信用表面』に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

申込先:〒150-8551 渋谷区渋谷1-3-9 3F ユース・プランニングセンター内「仁和寺展」イベント(①②③いずれか)係
申込締切:①12月11日(月)必着 ②12月19日(火)必着 ③2018年1月8日(月)必着

創刊記念『國華』130周年・朝日新聞140周年 特別展

「名作誕生—つながる日本美術—」

名品が生まれた系譜をたどる



(部分)

◎仙人掌群鶏図横 伊藤若冲

江戸時代・18世紀 大阪・西福寺蔵

若冲はいかにしてこの「名作」を生み出したのでしょうか?

日本美術史上に輝く「名作」たちは、さまざまなドラマをもって生まれ、受け継がれ、次の名作の誕生へとつながってきました。本展では、作品同士の影響関係や共通する美意識に着目し、唐招提寺鑑真ゆかりの木彫像や、雪舟、若冲ら巨匠の代表作、東アジア、日本で愛されてきたモチーフをいきいきと表した工芸など、地域や時代を超えた名作たちの誕生のドラマを、国宝・重要文化財含む約120件を通じてご紹介いたします。つながりがみえると美術がますます面白くなりますよ!(瀬谷愛)

2018年
4月13日(金)

5月27日(日)

平成館
特別展示室「アラビアの道
—サウジアラビア王国の至宝—」

出土品から文明交流の証を見る

アラビア半島の古代史は交易路とともに始まります。本展の前半では、前2000年頃にメソポタミア文明とインダス文明をつなぐ海上交易で繁栄したディルムン文化と、前1000年以降に香料交易で賑わったオアシス都市に注目。様々な地域との交流を示す文物から、ユーモラスなたたずまいの人物像、金製装身具など、人々を魅了する出土品が満載です。

(小野塚拓造)

祈る男

タールート島出土 前2900~前2600年頃

サウジアラビア国立博物館蔵

メソポタミア美術の特徴を示す表情やポーズ。都市文明との交流がうかがえます

【開催概要】観覧料:総合文化展の料金でご覧いただけます/お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

2018年
1月23日(火)

3月18日(日)

表慶館

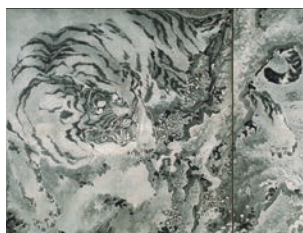


海外展

国立博物館合同企画特別展

「東アジアの虎美術
—韓国・日本・中国—」

「虎」をテーマにした作品が勢ぞろい



(部分)

虎に波図屏風 岸駒筆 江戸時代・文政6年(1823)
江戸時代後期に京都を中心に活躍した岸駒は、特に虎の絵を得意としました

本展覧会は、日本、韓国、中国の3カ国の国立博物館が合同で実施する3回目の国際共同企画展です。今回は韓国の国立中央博物館を会場に、東アジア全域で好まれた主題「虎」をテーマとして、日本の東京国立博物館、韓国の国立中央博物館、中国の国家博物館が収蔵する代表的な作品を一堂に展示します。

(金井裕子)

2018年
1月26日(金)

3月18日(日)

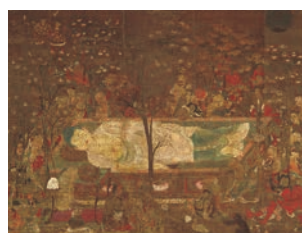
韓国国立
中央博物館

海外展

日タイ修好130周年記念

「日本美術のあゆみ
—信仰とくらしの造形—展」

タイで開催する大規模な日本古美術展



◎仏涅槃図 平安時代・12世紀

タイでは彫像が多い涅槃図。平安時代の涅槃図を見ての感想は?

12月27日(水)

2018年
2月18日(日)バンコク
国立博物館

バンコク国立博物館を会場として開催される本展は、①日本美術のはじまり、②仏教美術、③公家と武家、④禅と茶の湯、⑤多彩な江戸文化、の5章構成で、国宝3件、重要文化財25件を含む合計106件の作品を展示します。タイの方々の日本の古美術への興味を喚起し、両国の友好が一層深まる機会となれば幸いです。

(沖松健次郎)

今号の名品

2017年12月 - 2018年1月号

ふりそで しろりんず じくも み す たちばな も よう
振袖 白綸子地雲御簾橘模様

12月5日(火)~2018年2月18日(日)

本館10室

雅やかで吉祥に満ちた、まさに「晴れの日」のための一領



部分：御簾



部分：御簾の飾り紐(上)と房(下)

ふりそで しろりんず じくも み す たちばな も よう
振袖 白綸子地雲御簾橘模様
江戸時代・19世紀

青空に浮かぶ白い雲、颯爽とした風の中に橘の実が舞い散る―この振袖の模様からはそのような光景が思い浮かぶかもしれません。実際には、そこに青空はありません。白い綸子地に、肩から裾にかけて風に吹かれて舞い上がる御簾の模様があらわされています。

竹を細く割いて編んだ御簾の模様は、江戸時代に発達した友禅染特有の細い糸目糊で線を引いた後、藍染で水色に染められています。その一本一本の均質な線から生まれる美しさに、熟練した職人の技がうかがえます。御簾の縁はその周囲を縫い締め絞

りにして紅染しています。橘の実の一部も鹿の子絞りや縫い絞め絞りで茶色に染められ、一部は刺繍です。御簾から垂れる赤い飾り紐や御簾を巻いて上げる緒や房も刺繍ですが、その糸は高価な金糸だけでなく、和刺繍には珍しく撚糸が多用されています。

ます。立体感や質感を重視した表現は、縫い師が当時流行した写生的な表現を目指したためでしょう。いくつもの染の工程を経て丹念に刺繍されたオートクチュールは、豪商の娘のために特別にあつらえられた晴れ着を思わせます。

雲がたなびく御簾の模様は、王朝の雅な生活への憧れから生まれたものです。橘は、その葉が1年中若々しい緑色であり、その実は美しく香りも良いことから、常世の国の樹と称され愛され『万葉集』にも詠われました。優雅で吉祥に満ちた王朝風の模様は、江戸時代後期の豪商の娘にとって、ぜひ、身に纏いたい1領だけに違いありません。

1メートル近くもある長い振袖は、江戸時代後期の若い女性に流行。今の成人式で着られる晴れ着の振袖も、実は江戸時代後期のファッションの名残です。このような振袖は結婚前のお嬢様がお正月などの慶事にお召しになったのでしょうか。婚礼後、袖を短く切って留袖に仕立て替えられることも多いのですが、この振袖は、袖も当時のまま、前面と背面の模様の絵羽もきつりと合わせてあり、仕立替のあとが全く見られません。このように初心のまま、江戸時代の着物が現代に遺されていることは大変に珍しく、奇跡といってもよいのです。(小山弓弦葉)

『東京国立博物館 ニュース』
★12月1月のスタンプ設置場所…
本館インフォメーション
※スタンプ帳の配布は終了しました。

初もうで

2018年もトーハクは1月2日から開館します。
新年の干支・戌にちなんで犬をテーマにした特集や、
新春にふさわしい名品の数々で皆さまをお迎えします。
2日・3日は恒例のお正月イベントもいろいろ。
年のはじめはトーハクで、吉運を呼び込みましょう！

特集

かわいい犬たちに会いに来てください

「博物館に初もうで 犬と迎える新年」



2018年
1月2日(火)
28日(日)
本館特別1室・
特別2室

犬は、世界中で最も古くから人に飼われていたと考えられる動物で、さまざまな民族の文化に影響を与えました。この展示では、「いぬのかたち」「いぬとくらす」という2つのテーマで犬と人のかかわりを紹介します。日本人に愛されてきたかわいらしい子犬や、珍しい異国犬の造形を通して、常にとともにあった犬の文化的な意義をご覧ください。

正月限定！
カレンダー付きワークシート
1月2日・3日の2日間、ご来館の先着3,000名の皆様にワークシートをお配りします。特集「博物館に初もうで 犬と迎える新年」を楽しむためのワークシートに、2018年カレンダーがついています。配布は11:00～16:00、本館2階便殿前にて。※なくなり次第終了。

みんなで遊ぼう！ いぬ トーハク すごろく

特集で展示される主な作品をめぐって、
春夏秋冬をイヌと過ごしましょう。



START



くし
柴田是真筆
明治時代・19世紀



めいしよえ どひゃけい
名所江戸百景・
猿わが町よるの景
歌川広重筆
江戸時代・安政3年(1856)



涼しい秋、月に誘われ
犬もお出かけ
⇒1マス進む



すいせん くんく
水仙に群狗
磯田湖龍斎筆
江戸時代・18世紀

よい2018年に
なりますように

GOAL!



いぬすいてき
犬水滴
江戸時代・17～18世紀 *1



こいぬすいてき
仔犬水滴
江戸時代・18～19世紀 *1



いぬかたおきもの
犬形置物
ドイツ・ドレスデン 19世紀 *2

わん! Wuff! 汪!
⇒3マス進む



りょくゆういぬ
緑釉犬 中国
後漢時代・2～3世紀 *3



つくし いぬ
土筆に犬
竹内栖鳳筆 明治時代・19世紀
春はうきうき、心も弾む犬の散歩
⇒2マス進む



そめつけ こいぬかたこうろ
染付子犬形香炉
平戸 江戸時代・19世紀
染付犬でさわやかに
貯金を始める
⇒1マス進む



(背面)



めいしよえ どひゃけい たかなわ
名所江戸百景・高輪うしまち
歌川広重筆
江戸時代・安政4年(1857)

子犬たち、牛車の陰で雨宿り
すいか食べ過ぎておなかをこわす
⇒STARTに戻る

あさがおく しすぎと
朝顔狗子図杉戸
円山応挙筆
江戸時代・天明4年(1784)

犬たちとのんびり過ごす
夏の終わり
⇒1回休み



(部分)

*1 渡邊豊太郎氏・渡邊誠之助氏寄贈 *2 ライプツィヒ民族学博物館寄贈 *3 武吉道一氏寄贈

ワンダーホーな新年は、
トーハクから！



2018年
1月2日(火)
▼
28日(日)

博物館に

正月2日・3日は
イベント盛りだくさん



新春イベント

■2018年1月2日(火)

11:00 / 13:30 **和太鼓** 湯島天神白梅太鼓 本館前
12:40 / 15:10 **獅子舞** 葛西囃子中村社中 本館前

■2018年1月3日(水)

11:00 / 13:30 **和太鼓** 湯島天神白梅太鼓 本館前
11:50 / 14:20 **クラリネット・コンサート**
ジュリアンズ 平成館ラウンジ
12:40 / 15:10 **獅子舞** 葛西囃子中村社中 本館前
※雨天時は場所を変更、または中止になることがあります。

■いけばな

2018年1月2日(火)～14日(日)

正門、本館玄関、本館大階段
真生流 山根由美氏

■VR作品無料上演

2018年1月2日(火)・3日(水)

東洋館ミュージアムシアター
上演時間:11:00、12:00、13:00、14:00、15:00、16:00
※上演時間を一部変更する場合があります。
定員:各回ともに90名
※鑑賞には当日配布の整理券が必要です。
(配布場所:東洋館エントランス前)
※鑑賞チケット引換券はご利用いただけません。

■ホテルオークラレストラン ゆりの木からプレゼント

2018年1月2日(火)・3日(水)

ゆりの木ご利用のお客様、先着200名様に「伊予の水引」
の箸置きをプレゼント

■ミュージアムショップからお年玉

2018年1月2日(火)・3日(水)

館内全てのミュージアムショップで、2,000円以上お買い
上げのお客様、先着600名様にミュージアムグッズをプ
レゼント(引き渡しは本館ミュージアムショップでのみ
対応)

2018年1月2日(火)・3日(水)

美術図書バーゲンセール(本館ミュージアムショップの
み対象)

■寛永寺根本中堂特別参拝

2018年1月2日(火)・3日(水) 10:00～15:00

根本中堂、徳川歴代将軍の肖像画、四天王像などを公
開します。当館観覧券の半券(当日分)をご提示くださ
い。散華をお配りします。



シャカ金棺出現図 平安時代・11世紀 京都国立博物館蔵 (部分)

2018年1月2日(火)～28日(日) 本館2室
入滅後に駆け付けた母のため、釈迦が神通力で
棺より起き上がりて説法をした劇的場面を描きます。



鳥獣戯画断簡 平安時代・12世紀 (部分)

2018年1月2日(火)～2月4日(日) 本館3室
国宝「鳥獣戯画」から分かれた掛幅。平成29年
(2017)、新たに重要文化財に指定されました。



塩山 室町時代・15世紀

2018年1月2日(火)～
4月8日(日)
本館12室

図柄の中に「君・賀」の
2文字を隠し、長寿を
祝う有名な和歌を表現
しています。



松梅孤鶴図

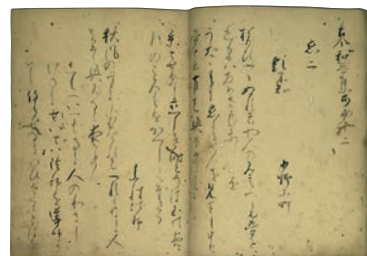
伊藤若冲筆
江戸時代・18世紀
植松嘉代子氏寄贈
12月19日(火)～
2018年2月4日(日)
本館8室
中国・明時代の絵を元
にして、松の上で休む鶴
をユーモラスに描いてい
ます。

お正月
気分だほー

(部分)

新春特別公開 今年はこの名品！

こちらも見逃せない！お正月ならではの名品



古今和歌集(元永本)下帖

平安時代・12世紀 三井高氏寄贈

2018年1月2日(火)～14日(日) 本館3室
書き初めの手本に、料紙のきらびやかな
平安の優雅な仮名をいかがでしょうか。

お習字がんばろ♪

お正月気分を満喫できる 作品もいろいろ



小袖 紅綸子地松貝桶模様

江戸時代・18世紀
12月5日(火)～2018年2月18日(日) 本館10室
貝合わせは夫婦和合を表したおめでたい模様です。

平和で しあわせな
1年でありますように。



あついた あいじからじし もよう
厚板 藍地唐獅子模様

江戸時代・17世紀

本館9室／12月5日(火)～2018年2月18日(日)

中国の伝説上の動物である獅子は、幸せをもたらす瑞獣と信じられてきました。能装束の模様として力強く織り出された金銀、色とりどりの獅子たちは、鬘や尻尾の巻き毛も愛らしく、コロコロとした姿は百獣の王というよりは犬のよう?! 獅子舞も良いですが、本館9室の獅子に会って健康と幸福にあやかってください!

新年快樂 勝木言一郎



ゆうよくじんぶつぞう
有翼人物像

中国・ミラン 大谷探検隊将来品 3～4世紀
東洋館3室／
2018年1月2日(火)～2月12日(月・休)

現在の中国西北部に位置するミランでは、1700年ほど前、仏塔が数多く建てられていました。こちらは仏塔の回廊に描かれた壁画の一部です。合唱曲としておなじみの『翼をください』のなかで、背中に欲しいと願った「白い翼」とは、こんなイメージでしょうか。現代の日本と1700年前のシルクロード、まさに時代と地域を超えたイメージといえます。

2018年もトーハクで
心臓ドグドクの体験を!
小野塚拓造



きんせいくびかざり
金製首飾

イラン アケメネス朝時代・前6～前4世紀
東洋館3室／通年

円形の駒を金環でつないだ首飾。駒をよーく見ると、冠帽をかぶり片手をあげた男神が三日月に乗っています。男神は、古代ペルシャで信仰されたゾロアスター教の善の神、アフラ・マズダとも考えられます。2018年が善きことに満ちた1年となりますように願いつつ、この作品をよーくのぞいてみてください。

研究員から新年のごあいさつ

年の初めに この作品

新年のご挨拶を兼ねて、トーハク研究員が新年にオススメしたい作品を選びました。「博物館に初もうで」とあわせて、2018年の“美術はじめ”はぜひトーハクへ!

今年も皆様に喜ばれるオンリー
“ワン”な展示を目指します!
横山 梓

しっぽうふがくずがく
◎七宝富嶽図額

瀧川惣助作 明治26年(1893) シカゴ・コロンブス世界博覧会事務局
本館18室／2018年1月2日(火)～3月18日(日)

絵画? いえいえ、七宝の作品です。瀧川惣助は明治を代表する七宝作家で、帝室技芸員にも選ばれました。その見事な無線七宝の技術は、まるで絵のような仕上がりで見ると驚かせます。雲間から浮かび上がる勇壮な富士を仰いで、新しい年の始まりを寿ぎましょう。



トーハクの名品で「ワン!」ダブルな
1年のはじまりを。 三田 寛之

しよっこうきんおび
◎蜀江錦帯

飛鳥時代・7世紀
法隆寺宝物館第6室／
2018年1月16日(火)
～2月12日(月・休)

(部分)



聖徳太子のお妃である膳大娘の帯として、奈良の法隆寺に伝わりました。飛鳥時代に製作され、経糸で文様を表した赤い地色の錦を「蜀江錦」と呼ぶのですが、なかでもこれは最高の作品。格子の中に蓮華を収めた様子が精緻な織りの技術で表され、飛鳥時代の華やかな文化を今に伝えています。

Pick up!

本館

シドッチゆかりの作品から見る
キリスト教信仰の歴史特集
「親指のマリアと
キリシタン遺品」

12月5日(火)～12月25日(月)

特別2室

平成26年(2014)文京区小日向の切支丹屋敷跡から発掘された墓が、キリスト教禁制下の日本に潜入したイタリア人宣教師シドッチ(1667～1714)のものであることが判明し、昨年の春に大きなニュースになりました。これを受けて本特集では、シドッチゆかりの聖母像(親指のマリア)や彼への尋問をまとめた新井白石『西洋紀聞(写本)』を中心に、聖母子や聖人を表した当館所蔵のキリスト教美術を展示します。

クリスマスの時期にあわせ、日本におけるキリスト教信仰について感じ、考える機会になりますと幸いです。
(瀬谷愛)

◎聖母像(親指のマリア)
長崎奉行所旧蔵品 イタリア 17世紀後期
シドッチはどのような思いでこの聖母像を胸に抱え、来日したのでしょうか



本館

12月といえばやっぱり忠臣蔵

仮名手本忠臣蔵・十一段目

11月28日(火)～12月25日(月)

10室 浮世絵と衣装



仮名手本忠臣蔵・十一段目

歌川国芳筆

江戸時代・安政元年(1854) 高橋寧氏寄贈

今ならAKR47の大活躍といたところでしょうか?

年末には、忠臣蔵を題材にした時代劇ドラマがよく放映されます。赤穂浪士の討ち入りで知られる仇討ちもので、江戸時代にもはずれがないとして『仮名手本忠臣蔵』が歌舞伎でよく上演されました。吉良邸への討ち入りは元禄15年(1702)、当時の暦の12月14日。『仮名手本忠臣蔵』は、場面設定を南北朝時代に置き換えています。吉良上野介は高師直になっ隠れていた師直を見出す討ち入りのクライマックス。安政元年(1854)11月に出版されています。(田沢裕賀)

本館

これで刀剣の見方が分かる!

特集
「刀剣鑑賞の歴史」

12月5日(火)～2018年2月25日(日)

14室

刀剣は理解するのが難しくありませんか? 鑑賞の見どころとして挙げられる「地鉄」、「刃文」、「沸」。どれも普段の生活ではまず使うことのない用語です。ですが、こうした言葉を用いて刀剣を鑑賞していた歴史は600年前まで遡ります。この特集では、作者の名(銘)のある刀剣と後世その作者だと判断された刀剣を並べるなどして、長い鑑賞の歴史で育まれた刀剣の見方を「実物」で辿ります。ぜひじっくりと鑑賞することで、先人たちが大切にしてきた刀剣の美しさを追体験してみましよう。(酒井元樹)

◎太刀 銘 光忠

鎌倉時代・13世紀

◎刀 金象嵌銘 光忠
本阿(花押)

鎌倉時代・13世紀

右は「光忠」の銘がある太刀、左は後世、光忠作と考えられた刀です



本館

童子の表情に無を見る

無我

2018年1月2日(火)～2月12日(月・休)

18室 近代の美術



無我

横山大観筆

明治30年(1897)

日本絵画REBORN。国民的画家・大観の出世作であり野心作

澄んだ川面に猫柳が芽吹き、春の訪れを感じさせる季節に、だぶだぶの着物で大人の草履を履いた頑固な童子は、不安げでもあり、何かを訴えるような表情にも見えます。「無」の絵画化、あるいは擬人化がこの作品のテーマとされていますが、春の季節感のなかに「無」の概念を描こうとした着想は、過去の人物画に先例が見出せません。明治期に興隆した「洋画」(日本で描かれた油彩画)に拮抗すべく、新しい日本絵画である「日本画」の創造を目指した大観の野心を感じさせます。(松嶋雅人)

東洋館

色鮮やかに残る精緻な文様

「錦」

2018年1月2日(火)～4月8日(日)

5室 中国の染織

錦とは、多彩な色糸を用いて文様を織り出した絹織物の総称です。織り成された時代におけるもつとも卓越した技術が駆使され、時代によって技術的な特徴がみられます。漢時代以降は経糸に色糸を用いて文様を織り出す「経錦」が主流でしたが、唐時代には、緯糸の色数を増やして精緻に文様を織り出せる「緯錦」が誕生。それは渡来人によって日本にも伝わりました。正倉院には当時の色彩もそのままに、壮麗な花文様を表した緯錦が遺されています。

(小山弓弦葉)



錦 淡緯地大唐花文様

中国あるいは日本 正倉院伝来 唐あるいは奈良時代・8世紀
唐時代最高の技術、複雑な緯錦。正倉院の琵琶を覆った色鮮やかな袋の一部です

東洋館

古代文字から学んだ
魅力あふれる作品群

特集 「呉昌碩とその時代」

「苦鉄没後90年」

2018年1月2日(火)～3月4日(日)

8室 中国の絵画・書跡

臨石鼓文軸

呉昌碩筆 中国
中華民国14年(1925)
林宗毅氏寄贈

重厚な線質の中にキラリと光る輝きを秘めた作風は、日本にも多くの熱烈なファンがいます



書・画・印に妙腕をふるった呉昌碩

(1844～1927)は、清王朝の掉尾を飾る文人として知られています。

56歳のとき、安東県(江蘇省)の知事となりますが、僅か1ヶ月で辞職し、生涯を在野で過ごしました。呉昌碩は、

終生にわたって紀元前5世紀ごろの古代文字・石鼓文の臨書に励み、その風韻を書・画・印に結実させました。呉昌碩の没後90年にちなみ、魅力あふれる作品を概観し、その業績を顕彰します。

台東区立書道博物館との連携企画第15弾。ご期待ください。

(富田淳)

東洋館

高麗時代の著名な技術者の作

青銅金鼓 金「崇慶二年」銘

2018年6月17日(日)

10室 朝鮮の仏教美術

金鼓とは、音を鳴らす仏具(梵音具)の一種です。銘文によって、韓仲叙という人物が作ったとわかります。高麗の技術者で名前の知られる者は珍しく、作品が5件も現存するのは彼だけです。

この金鼓は、彼の40年近い活動の、最も早いころの作品です。彼は、高麗の王女・寿寧宮主を護衛する部隊に属していましたが、位が明記されておらず、身分は低かったものと思われます。以後、彼は「匠」や「大匠」と呼ばれるようになり、「別將同正」という武官の位を称するまでになります。

(白井克也)



青銅金鼓 金「崇慶二年」銘

韓仲叙作 朝鮮 高麗時代・康宗2年(1213)
高麗を代表する工人の若き日の作品です

東洋館

トーハク朝鮮陶磁の人気者です

鉄砂雲龍文壺

2018年4月22日(日)

10室 朝鮮の陶磁



鉄砂雲龍文壺

朝鮮 朝鮮時代・17世紀 清水信子氏寄贈
力強い筆致で描かれた龍。まるで今にも動き出しそうです

びっくりしたように大きく見開いた目。何ともいえないチャーミングな龍の表情に目を奪われます。鉄砂とは白磁に鉄絵具で下絵付けを施す技法をいいます。17世紀、朝鮮半島では戦乱が続き、高価なコバルトが手に入らなくなると、青花磁器に替わってこの鉄砂のうつわが量産されるようになりました。このように、器面を区切ることなく、大胆かつのびやかに絵付けをするのは朝鮮陶磁独特の魅力です。トーハクの朝鮮陶磁コレクションのなかでも特に人気が高い作品、どうぞお楽しみください。(三笠景子)

Pick up!

付属品は、文字どおり作品に「付属する」もので、茶の湯の世界では次第とも呼ばれます。それらは共箱（ともば）のように、作品が作られたときから一緒に存在するものや、さまざまな所蔵者を経ていくうちに増えていったものなどがあります。

この展示では陶磁器作品を中心とし、「茶湯道具の次第」「コレクターの眼」「作り手の記録」といった小テーマを設け、作品と付属品とを合わせてみていただくことで、作品の背景に広がる世界を楽しんでいただくものです。（横山梓）



唐物肩衝茶入 銘 松山

中国 南宋～元時代・13世紀 原田吉蔵氏寄贈

この茶入には所蔵者の好みを反映した複数の仕覆（しふく）や修理の記録を記した箱も付属します

平成館

付属品から見える伝来の歴史

特集「やきもの、茶湯道具の伝来ものがたり」

「付属品・次第とともに観る」

12月5日（火）～2018年1月28日（日）

企画展示室

平成館

独創的な形の和歌山の埴輪たち

特集「和歌山の埴輪」

「岩橋千塚と紀伊の古墳文化」

2018年1月2日（火）～3月4日（日）

考古展示室



◎翼を広げた鳥形埴輪（部分）

和歌山市 大日山35号墳出土
古墳時代・6世紀 和歌山県教育委員会蔵
鳥形埴輪のなかでは珍しく、空を飛ぶ姿を表現しています

写真：和歌山県立紀伊風土記の丘

和歌山県の北端を西流する紀ノ川河口部には、国の特別史跡である4世紀から7世紀の岩橋千塚古墳群が立地します。そのなかでも大日山35号墳からは6世紀前半の埴輪群がみつかり、翼を広げた鳥形埴輪、両面人物埴輪、胡鐸形埴輪など、他に例のない独特な形象埴輪が出土しています。また、大日山70号墳からは陶質土器や鍛冶具など朝鮮半島との交流を示す遺物もあります。本特集は、平成29年度文化庁考古資料相互貸借事業によるもので、和歌山県立紀伊風土記の丘が所蔵する作品を中心に紹介します。（河野正訓）

黒田記念館

誰もが知っている黒田の代表作

重文
湖畔

2018年1月2日（火）～1月14日（日）

特別室



◎湖畔 黒田清輝筆 明治30年(1897)

2017年のセンター試験にも出題された、受験生必修の1点です。黒田清輝の自信作

教科書やクイズ番組などにもよく取り上げられる、おなじみの作品です。洋画家の黒田清輝が後に妻となる女性モデルに箱根、芦ノ湖畔で描いた《湖畔》ですが、明治30年の白馬会展で初めて発表された時は「避暑」というタイトルでした。その3年後、パリ万国博覧会へはフランス語で「湖辺」を意味する題で出品され、以後「湖畔」のタイトルが定着していきます。女性の背後に鏡のような湖面を広く配して、人物と風景を一体化させた画面には「湖畔」のほうが相応しい題だったのでしょう。（東京文化財研究所・塩谷純）

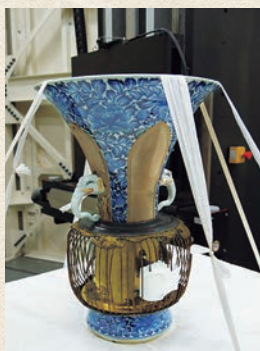
1000年後の未来に バトンタッチ！

保存と修理情報 44

在外日本美術品
修復事業への協力

当館ではこれまで文化庁、外務省、国際交流基金、東京文化財研究所が共同で進めている在外日本古美術品修復協力事業の成果の一部を展示してきました。2016年度からは展示だけでなく、処置前の調査に関

わり、昨年度はドレズデン国立美術館陶磁器資料館所蔵、染付時絵鳥籠（しづめどりかご）のX線CTによる調査で修理作業に寄与しました。この調査では大瓶の鳥籠を表現する金属と付け根の木漆工部の結合方法など、肉眼では確認できない構造に関する情報を技術者に提供することができました。国内だけではなく、海外にある日本の古美術保存にも携わる活動も行っています。（荒木臣紀）



染付時絵鳥籠装飾広口大瓶のCT調査の様子

示案内

- 

10

-2018/1/8月・祝

13-2

●太刀 長船景光 (号 小龍景光)

鎌倉時代・元亨2年(1322)

備前・長船派の名工景光の代表作で、小さい龍が見られます



2018/1/10水・4/8日

●太刀 古備前包平作 (名物 大包平)

平安時代・12世紀



-2018/2/25日

13-3

●色絵月梅図茶壺

仁清 江戸時代・17世紀

仁清色絵茶壺の代表作。梅樹の間から見える月の表現にご注目



●色絵花鳥文大深鉢

伊万里(柿右衛門様式) 江戸時代・17世紀

-2018/2/25日

14

●刀 金象嵌銘 光忠

本阿(花押) 鎌倉時代・13世紀

●太刀 銘 光忠 鎌倉時代・13世紀

光忠の銘のある作例は数えるほど。銘のある太刀(下)と後世に光忠作とされた刀(上)、似たところはどこでしょうか



-2018/1/28日

15

●都名所図会 第1

秋里藤島著、竹原信繁画 江戸時代・安永9年(1780)再刊 徳川宗敬氏寄贈

秋里藤島編になる名所図会。京都祇園や市中の料理茶屋を描きます



料理こんだてあわせ

浅草八百善編 江戸時代・文政5年(1822)刊 徳川宗敬氏寄贈



-2018/2/25日

16

首飾

北海道アイヌ 19世紀 徳川頼貞氏寄贈 儀式で身につけられたシトキは、母から娘へと代々伝えられた宝物



-2018/1/8月・祝

木綿衣

北海道アイヌ 19世紀 ウィーン万国博覧会事務局引継



-12/25日

18

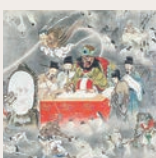
●地獄極楽図

河鍋晩斎筆 明治時代・19世紀

地獄の様子であるのに戯画的でもあり笑いを誘う。晩斎の真骨頂

2018/1/2水・2/12月・休

無我 横山大観筆 明治30年(1897) →7ページ



(部分)

-12/25日

10
浮世絵

○めんないちどり (見立由良之助一力遊興)

鳥高斎栄昌筆 江戸時代・18世紀 酔った姿の女性は、一力茶屋で遊ぶ大星由良之助のイメージです



(3枚続のうち)

(部分)

2018/1/2水・1/28日

隅田川図巻

鳥文斎栄之筆 江戸時代・19世紀

恵比寿、大黒、寿老人、三福神そろっての吉原遊び、福々しくて楽しそう



12/5水・2018/2/18日

10
衣装

振袖 白綸子地雲御簾 橘模様

江戸時代・19世紀 →3ページ



小袖 紅綸子地松貝桶模様

江戸時代・18世紀 →5ページ

本館 1F: 11~16, 18

-2018/4/22日

11

●不動明王立像

平安時代・11世紀

本来は怖い不動明王。平安時代の不動はどこか優しさを感じさせます



-2018/2/4日

毘沙門天立像

平安時代・12世紀 片岡家寄贈



2018/1/2水・4/8日

●塩山蒔絵硯箱

室町時代・15世紀 →5ページ



-12/25日

12

●扇散蒔絵手箱

室町時代・15世紀

蒔絵手箱の代表作。扇面に描き込まれた画中国画をつぶさに見るのも一興です

-12/17日

8-2

孟子 梁惠王篇中一章

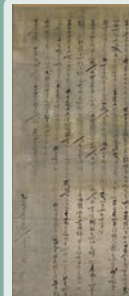
南化玄興筆 安土桃山時代・16世紀 馬屋原二郎氏寄贈

作者は戦国時代の禅僧で、後陽成天皇や豊臣秀吉などの帰依を受けました

四季花鳥図巻 巻下

酒井抱一筆 江戸時代・文化15年(1818)

江戸琳派の記念碑的な作品。展示する下巻は秋・冬の草花を描きます



12/19水・2018/2/4日

詠草

鳥丸光広筆 江戸時代・寛永11年(1634)



能筆・鳥丸光広が正月の歌会で詠んだ和歌を素材に奔放に筆を走らせています

12/5水・2018/2/18日

9

縫箔 紅地青海波鴛鴦河骨模様

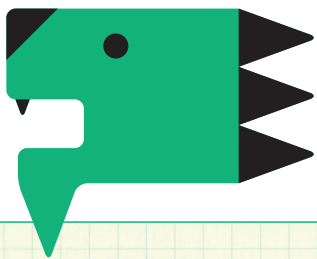
江戸時代・18世紀



厚板 藍地唐獅子模様

江戸時代・17世紀 →6ページ

夫婦円満をあらわす鴛鴦の吉祥模様が愛らしい



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

教育普及事業

ART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講演会・ギャラリートーク・ガイダンス

講演会

月例講演会「江戸の食文化」

日時：12月9日(土) 13:30~15:00

講師：高橋裕次（大倉集古館学芸部長）

現代の食文化の基本が形づくられた江戸時代の料理書などを通して、当時の人々の知恵や楽しみなどを紹介します。

江戸時代の
レシピ...興味
あるわ!



月例講演会

「やきもの、茶湯道具の伝来ものがたり一付属品・次第とともに観る」

*関連展示：本誌9ページ

日時：2018年1月20日(土) 13:30~15:00

講師：横山梓（保存修復室研究員）

作品とともに伝わる付属品や次第。一緒に見ることで、その作品の伝来や背景に触れることができます。特集の作品を中心にお話しします。

連携講演会「呉昌碩とその時代」

日時：2018年2月3日(土) 13:30~15:00

講師：鍋島稲子（台東区立書道博物館主任研究員）、富田淳（当館学芸企画部長）

日本に現存する作品を通して、呉昌碩の虚と実と光をあてます。

*会場は平成館大講堂、定員380名、聴講無料（ただし、当日の入館料が必要）

*開場は開始の30分前（予定）

ギャラリートーク

旅する縄文土器

日時：12月5日(火) 14:00~14:30 平成館考古展示室

講師：井出浩正（特別展室主任研究員）

12月25日(月)まで開催中の特集「いわきの考古学—貝塚と横穴墓—」のうち、縄文土器にスポットを当て、縄文人の交流を探ります。

あなたも博物館でボランティア

日時：12月19日(火) 14:00~14:30

本館地下 みどりのライオン（教育普及スペース）

講師：鈴木みどり（ボランティア室長）

ボランティアとして、博物館と来館者をつなぐ活動をしてみませんか？どんな活動内容か、自分にできるかなど、興味をお持ちの方は、ぜひどうぞ。

博物館に初もうで 犬と迎える新年

*関連展示：本誌4ページ

日時：2018年1月12日(金) 18:30~19:00 本館特別1室

講師：末兼俊彦（平常展調整室主任研究員）

我々人間にとって最もなじみ深い動物である「犬」、平成30年（2018）の干支でもある様々な犬たちと新たな年を迎えましょう。

犬のはなしが
ワンさかたほ



呉昌碩とその時代—苦鉄没後90年—

*関連展示：本誌8ページ

日時：2018年1月16日(火) 14:00~14:30 東洋館8室

講師：富田淳（学芸企画部長）

清朝300年の掉尾を飾る文人の魅力に迫ります！

縄文時代後の北海道

日時：2018年1月23日(火) 14:00~14:30 平成館考古展示室

講師：品川欣也（考古室主任研究員）

南北に長い日本列島が生み出した多様性の代表例として、北海道「続縄文文化」を紹介します。

描かれた献納宝物と染織品

日時：2018年1月30日(火) 14:00~14:30 法隆寺宝物館第6室

講師：沢田むつ代（客員研究員）

江戸の奥絵師や明治の画家による精密な模写図と、そこに描かれた蜀江錦（しゅうこうきん）綾幡等を対比して展示します。当時の宝物の状態がうかがわれます。

東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク

*各回15:30~15:50

東魏の如来三尊立像

日時：2018年1月11日(木)・13日(土)・25日(木)・31日(水)、
2月4日(日)・14日(水)

会場：東洋館1室 解説：間志翔

中国・東魏時代の「如来三尊立像」。その魅力を表現と制作背景から紹介します。

横山大観の出世作を読み解く

日時：2018年1月16日(火)・19日(金)・26日(金)・30日(火)、
2月3日(土)・7日(水)

会場：本館18室 解説：木原天彦

横山大観の出世作「無我」。そのモチーフ、表現、タイトルを読み解きます。

ART
2

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

アートスタジオ

子どもの勾玉作り

平成館考古展示室にある勾玉を見学した後、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品は持ち帰りいただけます。



日時：2018年2月4日(日) 13:30~15:30

会場：本館地下 みどりのライオン（教育普及スペース）

対象：小学3年生~中学生（保護者の見学可）

定員：20名程度（応募者多数の場合は抽選）

参加費：無料（ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要）

申込方法：当館ウェブサイトのフォームが往復はがきでお申し込みください。

往復はがきの場合は、「往信用裏面」に（1）参加者全員（2名まで）の氏名・ふりがな、学年、（2）参加者の郵便番号・住所（2名の場合はそれぞれの住所）、（3）代表者の電話番号、（4）保護者が一緒の場合はその人数を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

申込締切：2018年1月8日(月・祝) 必着

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室「2月4日勾玉作り」係

お問合せ：TEL 03-3822-1111（代）ボランティア室

平成30年度ボランティア募集のお知らせ

平成30年（2018）4月から3年間の任期で活動するボランティアを約50名募集します。応募受付は、12月11日(月)~2018年1月11日(木)です。あなたも一歩でボランティアをしてみませんか？詳細は、当館ウェブサイトでご案内します。

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代) ボランティア室



事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

ファミリーツアー&子どもツアー

トーハク劇場へようこそ!

展示室を舞台にした演劇形式のツアー「トーハク劇場」の新作です。劇場にお芝居を観に行くような、わくわくした気分楽しんでください。

ファミリーツアー(小学1~3年生とその保護者)

(A) 2018年1月27日(土) 11:00~12:00

(B) 2018年1月28日(日) 11:00~12:00

子どもツアー(小学4~6年生)

(C) 2018年1月27日(土) 14:00~15:00

(D) 2018年1月28日(日) 14:00~15:00

対象: ファミリーツアー(A、B)は小学1~3年生とその保護者、子どもツアー(C、D)は小学4~6年生(保護者の見学可)

定員: (A)(B)は各回10組、(C)(D)は各回20名(いずれも応募者多数の場合は抽選)

参加費: 無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、別途当日の入館料が必要)

申込方法: 当館ウェブサイトのフォームからお申し込みください。

*子どもツアー(C、D)は対象年齢内であれば、1回の入力で3人まで申込可。

申込締切: 2018年1月11日(木) 必着

お問合せ: TEL 03-3822-1111 (代) 教育普及室



事前申込制 [往復はがき]

バックヤードツアー

保存と修理の現場へ行こう

文化財の保存と修理についての解説および修理室等のバックヤードツアーを行います。関連展示や修理室、さらに大型CTスキャナーなど最新の分析機器をご案内します。

日時: 2018年3月16日(金) 14:00~16:30

定員: 60名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費: 無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、別途当日の入館料が必要)

申込方法: 往復はがきでお申し込みください。「往信用裏面」に(1)氏名・ふりがな、(2)郵便番号・住所、(3)電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。*1枚のはがきで1名のみ申込可

申込締切: 2018年1月31日(水) 必着

申込先: 〒110-8712

東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館教育講座室

「バックヤードツアー」係

お問合せ: TEL 03-3822-1111 (代) 教育講座室



*事前申込プログラムにお申し込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。

実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問合せください。TEL:03-3822-1111 (代)

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

*インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。

*♾は「ヒアリンググループ」対応のイベントです。



トーハクが海外で開催している
展覧会(海外展)について教えて!



トーハクが、日本以外でも展覧会を開催してるって知ってた?

初耳だほー。

今回はそんなトーハクくんのために、わたしがレクチャーするわ!

Q1 いつから始まったの?

トーハクとしては、1949年にアメリカ・シアトル美術館とともに開催した「日本美術展」が始まりといえます。同館所蔵の日本美術作品を中心に、日本からも出品しました。それ以降、文化庁が主催する展覧会を含め、多くの海外展に関っています。

Q2 どんな展覧会があったの?

2006年に「日本文化の輝き」(ニュージーランド国立博物館テ・ババ・トガレワ)、2008年には「サムライ 日本の武家の宝物」(モスクワ・クレムリン博物館)を開催。2015年に文化庁主催で当館が特別協力した「狩野派展」(アメリカ・フィラデルフィア美術館)では、開催側のキュレーターの企画に基づき狩野派の作品を展示しました。



「サムライ」展の会場風景

Q3 何のためにしているの?

文化財を通じて日本の歴史と文化をより深く知ってもらうこと、国同士の親交を深めることを目的としています。

Q4 トーハク役職は?

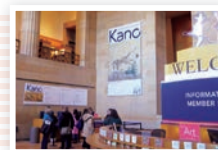
作品の貸出しにあたり、梱包や輸送の監督、展示などを研究員が行っています。現在、タイ・バンコク国立博物館で開催予定の「日本美術のあゆみ展」(→2ページ)に向けて、両国が協力し準備を進めています。



「日本美術のあゆみ展」会場にケースを仮置きし、展示テストを行っています



「日本美術のあゆみ展」打合せの様子。テーマや展示作品は開催館と意見交換をしながら決めます



「狩野派展」会場近くの様子。たくさんの方が来館されました

なるほー。こんなになが歴史があるんだほー。

外国の方にも日本の美術を楽しんでもらえたらうれしいわね!

ぼくもいつか海外の展覧会を見てみたいほ。

2017トーハク感謝DAY

12月23日(土・祝)、24日(日)、25日(月)は、総合文化展が観覧無料！ コンサートやミュージカル落語、本館を中心とした特別ライトアップ(12月22日〈金〉～25日〈月〉に実施)とともに、トーハクで美術品の見納めを。

感謝DAYクリスマスライブ

日時：12月23日(土・祝) 11:00、15:00、17:30、19:30
24日(日) 11:00、15:00
25日(月) 11:00、15:00 *各回30分程度

会場：本館エントランス、平成館ラウンジなど

出演：ジュスカグランパール(ギター、バイオリン)、ウィリアム・プランクル(チェロ)

料金：無料 協力：大和ハウス工業株式会社

ミュージカル落語『一口弁当 〜イジメ撲滅の願いを込めて〜』

日時：12月25日(月) 開演14:00(開場13:30)

会場：平成館大講堂 出演：三遊亭究斗

料金：一般1,000円 ペアチケット1,500円(全席自由)

〈チケットのお求め方法〉

○当館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)

○ローソンチケット(Lコード：31730)

TEL：0570-000-407(10:00～20:00オペレーター対応 年中無休)

0570-084-003(24時間自動音声、要Lコード)

ウェブサイト：<http://l-tike.com/>

直接購入：ローソン・ミニストップ店頭Loppi

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代) 総務課イベント担当

*月曜～金曜日の9:30～17:00(土日・祝休日、年末年始は除く)

特別ライトアップ

日時：12月22日(金)～25日(月) 16:00～21:00 場所：本館および本館前庭

※12月24日(日)～25日(月)は17:00閉館(16:30最終入館)。

*2017トーハク感謝DAYイベントの詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

東京国立博物館賛助会のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実に、幅広くご支援をいただいております。

○年会費

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効

〈団体〉プレミアム会員 1000万円以上

特別会員 100万円(1口)

維持会員 20万円

〈個人〉プレミアム会員 100万円以上

特別会員 20万円／維持会員 5万円

○主な特典

特別展内覧会へのご招待
東京国立博物館ニュースの送付 など

○申込方法

当館窓口、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込

○お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 総務課賛助会担当

東京国立博物館賛助会員 2017年11月2日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞東京本社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様
公益財団法人 東芝国際交流財団 様
日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社 様
日本ロレックス株式会社 様
サロン・ド・ソネット 様
TABIZURU FOUNDATION 様
株式会社 みずほ銀行 様
一般財団法人 東京国立博物館協会 様
株式会社 東京書芸館 様

個人

プレミアム会員
榑田 良豊 様
岩間 良孝 様
特別会員
伊藤 信彦 様
辻 泰二 様
谷川 紀彦 様
佐久間 基晴 様
田中 将介 様
井田 悦郎 様
大山 孝良 様
維持会員
伊藤 信彦 様
篠内 匠人 様
服部 悦子 様
岩沢 美香 様
高田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
和田 喜美子 様
藤原 美樹 様
中川 俊光 様
関谷 徳衛 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保のり子 様
榑田 良豊 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛様
観世 あすか 様
星望 由尚 様
渡辺 章様
稲垣 哲行 様
飯岡 雄一 様
高瀬 正樹 様
寺浦 信之 様
高木 美華子 様
吉原 知良 様
古屋 光夫 様
根田 穂美子 様
是常 博様
上野 孝一 様
北山 喜立 様
山田 泰子 様
柴田 陸子 様
絹村 安代 様
臼井 生三 様
津久井 秀郎 様
川澄 祐勝 様
神通 豊 様
神通 豊一 様
石川 公子 様
永田 実香 様
西岡 康宏 様
友聖 紀子 様
東野 治之 様
竹下 佳宏 様
松原 聡 様
野澤 智子 様
坂田 浩一 様
池谷 正夫 様
木下 順巳郎 様
渡久地 ツル子 様
汐崎 浩正 様
平井 千恵子 様
青山 道夫 様
高橋 静雄 様
田中 千秋 様
小西 伸也 様
田中 望 様
三井 速雄 様
坂田 靖司 様
吉田 晴様
松本 雅彦 様
篠田 喜弘 様

維持会員 団体

株式会社 三冷社 様
株式会社 東京美術 様
株式会社 鶴屋吉信 様
日本通運株式会社 美術品事業部 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 古美術数本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネットシアティヴ 様
株式会社 小西美術工藝社 様
有限会社 ギャラリー「柳堂」 様
株式会社 育伸社 様
株式会社 モリワケ 様
AMI開発有限会社 名古屋支店 様
光村図書出版株式会社 様
株式会社 資生堂 様
株式会社 グラスハウバーン・ジャパン 様
株式会社 デュナミス 様

株式会社 佐久間太熙堂 様
キッコーマン株式会社 様
公益社団法人 創玄書道会 様
高木 聖雨 様
一般社団法人 書芸文化院 様
株式会社 精養軒 様
株式会社 都市環境企画 様
ANA セールス株式会社 様
株式会社 清光社 様
一般社団法人 学士会 様
公益財団法人 書道芸術院 様
アズビル株式会社 様
セコム株式会社 様
株式会社 ニッセイコム 様
金剛株式会社 様
株式会社 ロイスダール 様
株式会社 岡村製作所 様
株式会社 GIC ジャパン 様
公益財団法人 アダチ伝統木版画
技術保存財団 様
エクスロン・インターナショナル株式会社 様
正筆会 様
はごろもフーズ株式会社 様

休館情報

12月12日(火)は電気設備等保守点検のため、臨時休館します。

下記の展示館を一時休館します。

東洋館：12月11日(月)～2018年1月1日(月・祝) [展示環境整備のため]

プレミアム・フライデー@トーハク

1月「新春東博寄席2018」

日時：2018年1月26日(金) 開場14:30 開演15:00

会場：東京国立博物館 平成館大講堂

出演：金原亨馬生、古今亭菊春ほか 料金：2,000円(全席自由)

*当日はイベントチケットで総合文化展をご覧ください。

*チケットのお求め方法については本ページ内、2017トーハク感謝DAY(チケットのお求め方法)の項目をご覧ください。(ローソンチケット Lコード：35341)

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代) 総務課イベント担当

*月曜～金曜日の9:30～17:00(土日・祝休日、年末年始は除く)

国際シンポジウム「ミュージアムにおける日本美術の再発見」

ミュージアムにおける体験は、紋切り型のイメージを超えて日本美術の新たな側面を「再発見」する機会となります。日本文化の理解を深めるために、ミュージアムは何をしてきたか、何ができるか、何をなすべきかを考えます。

日時：2018年1月12日(金) 13:00～17:30(開場12:30) *休憩あり

1月13日(土) 10:00～17:00(開場9:30) *休憩あり

発表者：ロジャー・バックランド氏(スコットランド国立博物館)、アンドレアス・マックス氏(ミネアポリス美術館)、ダーン・コック氏(国立民族学博物館／ライデン)、古田亮氏(東京藝術大学大学美術館)ほか *同時通訳付

会場：平成館大講堂

定員：300名(事前申込制、先着順) 聴講無料

申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申込みください。

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代) 総務課イベント担当



サワディー! タイから「こんにちは」



突然ですが、タイの気候は世界でも有数の高温多湿地域で、年間平均気温は29℃、平均湿度は73%もあるところ。4月の頃など空港から外に出ると日本の8月のような蒸し暑さで汗が止まりません！バンコク国立博物館（写真の建物）での「日本美術のあゆみ展」（→2ページ）開催が決定し、トーハクでは展示設計の協力も行っています。「高温多湿」の環境下で、脆弱な日本美術を展示するため「安定した環境」の実現に向けタイの人々と協力しながら計画を進めています。毎月のように現地で打ち合わせや食事をする中で、徐々に信頼を得られているような気がします。来年のお正月はタイで迎えてみませんか？（矢野賢一）

特別展「仁和寺と御室派のみほとけ一天平と真言密教の名宝」 チケットプレゼントまたは2018年東京国立博物館カレンダープレゼント

①特別展「仁和寺と御室派のみほとけ一天平と真言密教の名宝」(2018年1月16日(火)～3月11日(日)→2ページ)の無料観覧券(10組20名様)または②東京国立博物館のオリジナルカレンダー(5名様)を抽選でプレゼントします。締め切りは①2018年2月10日(土)、②1月25日(木)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ご希望のプレゼント(チケットまたはカレンダー)ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース12・1月号」プレゼント係



「MUSEUM」670号(2017年10月15日発行)の掲載論文

- ①「報告」法隆寺伝来・上代裂 天蓋垂飾・錦・綴織・刺繍等の残欠一平成二十五年度修理の成果—
沢田むつ代(当館客員研究員)
- ②「資料紹介」法隆寺献納宝物の木簡について
三田覚之(当館教育普及室・工芸室研究員)
渡辺晃宏(奈良文化財研究所副所長)

お問合せ：当館ミュージアムショップまたは

中央公論事業出版(TEL: 03-5244-5723)

定価：1,543円(税込)



TNM & TOPPANミュージアムシアター

VR作品「風神雷神図のウラ 一夏秋草図に秘めた想い」
2018年1月4日(木)～4月22日(日)

自然に翻弄され、雨に濡れ風に揺れる繊細な草花。風の音すら聴こえるような一瞬を切り取った「夏秋草図屏風」を描いたのは、江戸時代後期に活躍した絵師、酒井抱一。抱一晩年の最高傑作である「夏秋草図屏風」は、実はある屏風の「ウラ」に描くよう依頼された作品であることをご存じでしょうか。その屏風とは、抱一が長年憧れを抱き、自らの絵画制作の師と仰いだ名匠の手によるものでした。抱一はどのような想いを込めて、その裏側に「夏秋草図屏風」を描いたのか。バーチャルリアリティならではの視点で、オモテとウラの関係性に隠された秘密を探ります。

料金：一般・大学生・高校生500円、小学生・中学生300円

*未就学児、障がい者とその介護者1名は無料(1作品/1回あたり)

*2018年1月2日(火)・3日(水)はお正月イベントとして、鑑賞無料です。詳細は本誌5ページ

*総合文化展とセット購入で一般：1,000円/大学生800円

*所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。

*演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。

*2018年1月1日(月・祝)まで、TNM & TOPPAN ミュージアムシアターは上演環境改善のため休演します。

*詳細はウェブサイトをご覧ください。URL <http://www.toppa-vr.jp/m/>



東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

●総合文化展は金・土曜日は21:00まで

●いずれの場合も黒田記念館は17:00まで

休館日:

月曜日(祝日・休日に当たる場合は開館、翌平日休館)
年末年始

(12月26日(火)～2018年1月1日(月・祝))

●12月26日(月)、2018年3月26日(月)は開館

●黒田記念館特別室の開室は2018年1月2日(火)～1月14日(日)、2018年3月26日(月)～4月8日(日)

*特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金:

一般＝620(520)円 大学生＝410(310)円

●()内は20名以上の団体料金

●障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料

●2017トーハク感謝DAY(12月23日(土・祝)・24日(日)・25日(月))は、総合文化展は無料

東京国立博物館会員制度(2017年4月からの新制度)

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意しております。

友の会

発行日から1年間有効

年会費 8,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を6枚配布、本誌の定期購読、ショップ、レストラン割引等様々な特典があります。

メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効

年会費 一般5,000円、学生3,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を4枚配布します。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効

年会費 一般2,000円、学生1,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。

ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読

年会費 1,000円(6冊分)

【特典】年6回東京国立博物館ニュースをご自宅に送付いたします。メンバーズプレミアムパスとの同時申し込みで100円割引。

*次号よりご送付希望の場合、締切は1月10日(水)です。

〇申込方法

1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします(現金またはクレジットカード)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申し込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

●振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生)③氏名(ふりがな)、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名:東京国立博物館会員制度

口座番号:00140-3-791791

●振込用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。

●振替手数料はお客様負担となります。

●ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

*一度収められた料金の払い戻しはいたしません。

*各種イベントのお申込みに際してご提供いただいた個人情報、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

〇お問合せ

電話 03-3822-1111(代)総務課会員制度担当

*月曜～金曜日の9:30～17:00(土日・祝休日は除く)

FAX 03-3821-9680

最新情報は、

ウェブサイト、Facebook、Twitter、Instagram、メールマガジンで!

東京国立博物館ウェブサイト

<http://www.tnm.jp/>

1 金	夜間開館 (21:00まで) 東博ボランティアデー 考 10:20 秋の庭園開放 庭 11:00 建 12:00 樹 12:50 本 14:10 法 15:00 彫 15:50
2 土	夜間開館 (21:00まで) 東博ボランティアデー 浮 10:20 茶 11:00、13:00 英 11:00 樹 11:00 近 11:30 刀 12:10 法 13:00 陶 13:30 本 14:00 彫 14:40 法 15:10 考 16:00 ▶「クリスマスコンサート」18:30*1 ♥ 11:00、13:00、15:00
3 日	作 13:30 考 14:30
4 月	休館日
5 火	庭 11:00 G「旅する縄文土器」14:00 平成館考古展示室
6 水	
7 木	東 11:00
8 金	夜間開館 (21:00まで) 英 14:00
9 土	夜間開館 (21:00まで) 講「江戸の食文化」13:30 平成館大講堂 陶 14:30
10 日	近 13:00 浮 14:00 彫 15:00
11 月	休館日
12 火	臨時休館日
13 水	
14 木	庭 11:00
15 金	夜間開館 (21:00まで) 樹 11:00
16 土	夜間開館 (21:00まで) 庭 11:00 本 14:00 法 15:00
17 日	茶 11:00、13:00 英 11:00 浮 14:00 考 14:30
18 月	休館日
19 火	G「あなたも博物館でボランティア」14:00 本館地下教育普及スペース
20 水	
21 木	彫 15:00
22 金	夜間開館 (21:00まで)
23 土・祝	夜間開館 (21:00まで) 2017 トーハク感謝 DAY*2 総合文化展無料観覧日
24 日	2017 トーハク感謝 DAY*2 総合文化展無料観覧日 法 13:00 彫 15:00
25 月	2017 トーハク感謝 DAY*2 総合文化展無料観覧日
26 火	休館日
27 水	休館日
28 木	休館日
29 金	休館日
30 土	休館日
31 日	休館日

1 月・祝	休館日
2 火	新春イベント*3 ♥ 11:00、13:00、15:00 博物館に初もうで
3 水	新春イベント*3
4 木	
5 金	夜間開館 (21:00まで) 法 15:00
6 土	夜間開館 (21:00まで) 樹 11:00 本 14:00 ♥ 11:00、13:00、15:00
7 日	考 14:30
8 月・祝	
9 火	休館日
10 水	
11 木	庭 11:00 藝「東魏の如来三尊立像」15:30 東洋館1室
12 金	夜間開館 (21:00まで) 国際シンポジウム「ミュージアムにおける日本美術の再発見」 13:00*4 英 14:00 G「博物館に初もうで 犬と迎える新年」18:30 本館特別1室
13 土	夜間開館 (21:00まで) 国際シンポジウム「ミュージアムにおける日本美術の再発見」 10:00*4 陶 14:30 藝「東魏の如来三尊立像」15:30 東洋館1室
14 日	近 13:00 浮 14:00 彫 15:00
15 月	休館日
16 火	G「呉昌碩とその時代—苦鉄没後90年—」特別展「仁和寺と御室派のみほとけ」 14:00 東洋館8室 藝「横山大観の出世作を読み解く」15:30 本館18室
17 水	
18 木	彫 15:00
19 金	夜間開館 (21:00まで) 樹 11:00 【仁和寺】フォーラム「観音堂解体修理の最新報告」 13:30 平成館大講堂 藝「横山大観の出世作を読み解く」15:30 本館18室
20 土	夜間開館 (21:00まで) 庭 11:00 講「やきもの、茶湯道具の伝来ものがたり 一付属品・次第とともに観る—」13:30 平成館大講堂 本 14:00 法 15:00
21 日	茶 11:00、13:00 英 11:00 東 11:00 浮 14:00 考 14:30
22 月	休館日
23 火	「アラビアの道—サウジアラビア王国の至宝—」 G「縄文時代後の北海道」14:00 平成館考古展示室
24 水	庭 11:00
25 木	本 14:00 藝「東魏の如来三尊立像」15:30 東洋館1室
26 金	夜間開館 (21:00まで) ★「新春東博寄席2018」15:00 藝「横山大観の出世作を読み解く」15:30 本館18室
27 土	夜間開館 (21:00まで) W「トーハク劇場へようこそ!」11:00、14:00 刀 13:30
28 日	W「トーハク劇場へようこそ!」11:00、14:00 法 13:00 彫 15:00
29 月	休館日
30 火	G「描かれた献納宝物と染織品」14:00 法隆寺宝物館第6室 藝「横山大観の出世作を読み解く」15:30 本館18室
31 水	藝「東魏の如来三尊立像」15:30 東洋館1室 (3月18日まで)(3/11まで) ↓

【仁和寺】＝特別展「仁和寺と御室派のみほとけ」関連事業(→2ページ) ★＝「プレミアム・フライデー@トーハク」(→14ページ) ♥＝トーハクくん&ユリノキちゃん登場日

*1＝有料イベント。詳細は当館ウェブサイト *2＝詳細は本誌14ページ *3＝「博物館に初もうで」関連イベント(→5ページ) *4＝事前申込制。詳細は本誌14ページ

講＝月例講演会等、詳細は本誌12ページ(特別展関連事業→2ページ)

G＝ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ

W＝ファミリーツアー、子どもツアー、詳細は本誌13ページ

託児サービス実施日(12:30～15:30) 事前予約制 有料

作＝ボランティアによるアートスタジオ 事前申込制 詳細は本誌前号13ページ(申込みは締め切りました)

本＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館エントランス

浮＝ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館エントランス

陶＝ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館エントランス

彫＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館エントランス

樹＝ボランティアによる樹木ツアー、集合場所:本館エントランス

茶＝ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所:本館エントランス(9:30から集合場所で整理券配布、参加費500円、各回先着15名)

考＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口
庭＝ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所:本館エントランス(9:30から集合場所で整理券配布、先着18名)

英＝ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館エントランス

建＝ボランティアによるたての散歩ツアー、集合場所:本館エントランス

近＝ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所:本館エントランス

刀＝ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所:本館エントランス

東＝ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所:東洋館エントランス(12月2日は「世界遺産を巡る旅」ツアー、12月7日は「仏像の旅」、1月は「東洋館ハイライト」をご案内します)

法＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館エントランス

藝＝東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク。詳細は本誌12ページ

※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。